

平成 22 年 8 月 26 日

問い合わせ先

第四管区海上保安本部

交通部企画課長 林 守弘

電話 052-661-1611(内線 2610)

## 水上オートバイの海難多発！

～夏のプレジャーボート海難発生状況報告（速報）～

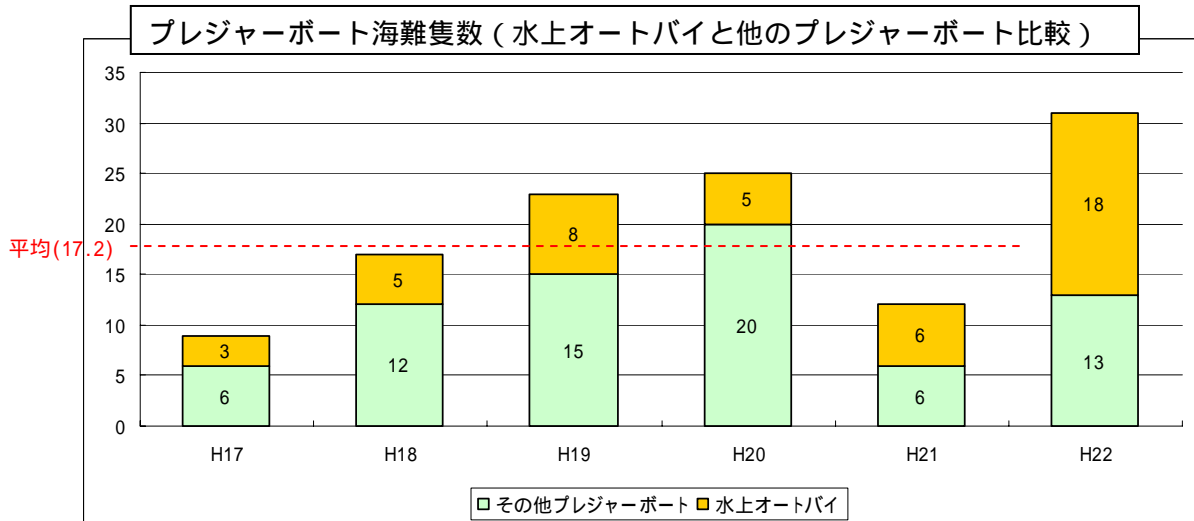
今年は各地で梅雨明け以降猛暑が続き、7月1日～8月23日のプレジャーボート海難隻数は昨年同期の約2.6倍となっています。

### 1 プレジャーボート海難の発生状況

今年7月1日から8月23日の間に発生したプレジャーボート海難の隻数は31隻で、昨年より19隻多く、過去5年の平均17.2隻より約14隻多くなっています。

特に水上オートバイの海難隻数は18隻と、昨年同期の3倍となっています。

幸いにも、期間中、海難に伴う死亡・行方不明者は発生していません。

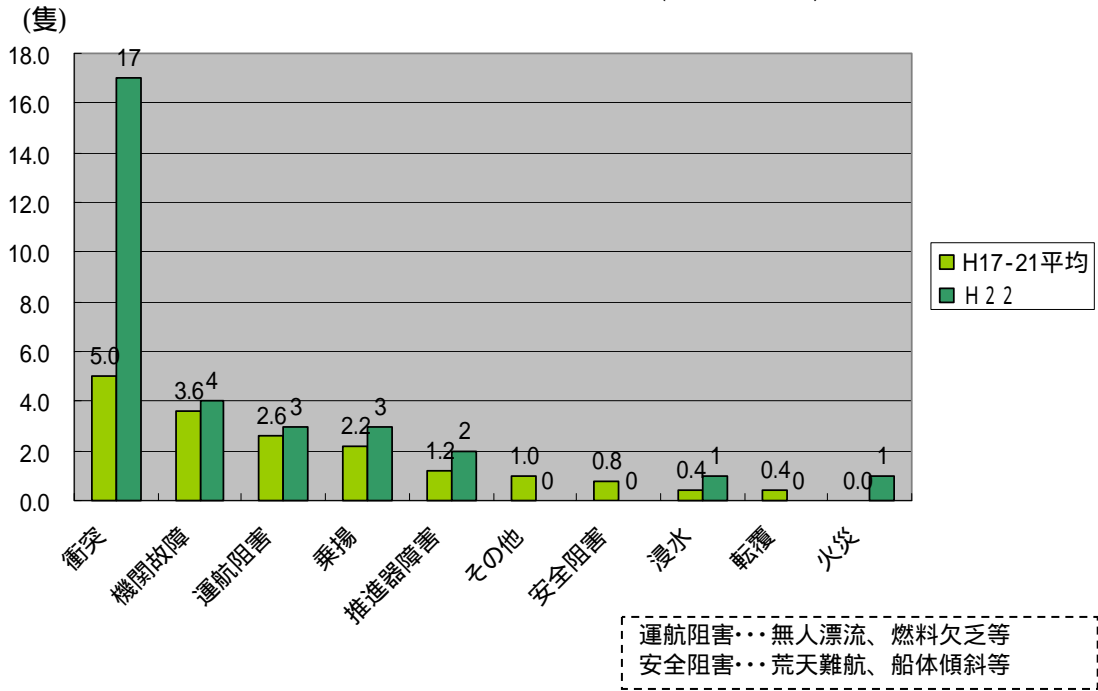


### 2 プレジャーボート海難の傾向

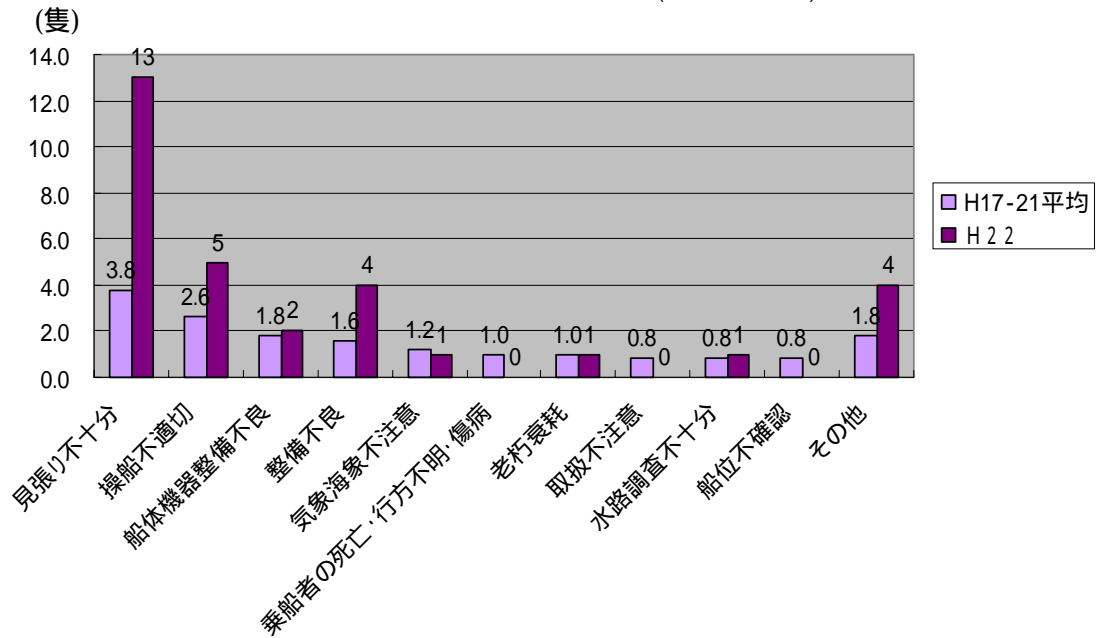
例年、海難の種類では衝突、機関故障、運航障害が、海難の原因では見張り不十分、操船不適切、船体及び機関の整備不良の比率が高くなっていますが、今年は、衝突海難が17隻と例年に比べ突出しており、このうち15隻、9割近くが水上オートバイによるもので、脇見をして前を見ずに走ったり、周囲の状況を十分確認せず急旋回したことが原因で起こったものです。

また、水上オートバイの海難により、合わせて9人が骨折などの重軽傷を負っています。

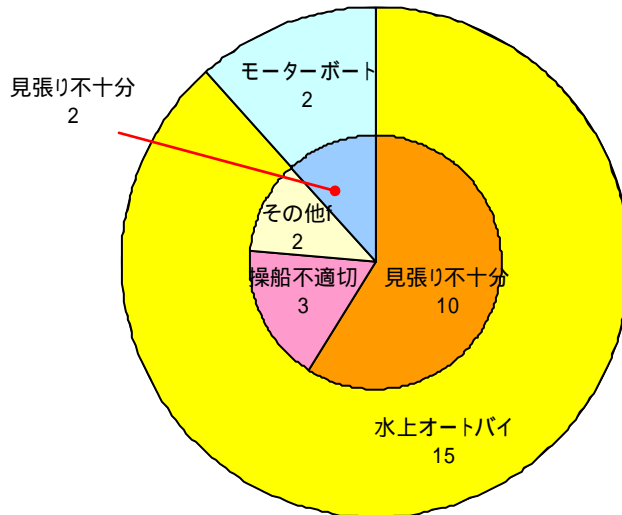
プレジャーボート海難種類別発生状況(各年7/1-8/23)



プレジャーボート海難原因別発生状況(各年7/1-8/23)



プレジャーボート衝突海難内訳(H22年7/1-8/23)



(単位：隻)

3 プレジャーボート海難の防止対策

水上オートバイの衝突海難多発を受け、(財)日本海洋レジャー安全・振興協会、(財)日本船舶職員養成協会、NPO 法人 PW 安全協会等の関係先に対し、海難に対する注意喚起と指導の強化について協力を依頼しました。

今後も、現場での指導や各種講習会、関係機関との連携を通じ、海難防止に努めます。

4 全国海難防止強調運動期間中(7月16日~7月31日)の主な海難防止活動

小型船の事故防止のため以下の取組を実施しています。

鳥羽海上保安部では、伊勢自動車道 嬉野パーキングエリアを利用する一般レジャー客を対象に、海浜事故発生を未然に防止しマリンレジャー客の安全意識向上を図ることを目的として海難防止及び海洋環境保護の啓発活動を実施しました。



全国海難防止強調運動期間中、愛知県、三重県の各漁業無線局では、漁協近隣の小学生等の協力を得て、出漁するお父さん、おじいちゃん等への安全メッセージを募集し、各地の漁業無線の定時放送に合わせ、海難防止に関する周知啓発と応募のあった安全メッセージを読み上げ、家族の思いを直接伝える取組みを行いました。

特に篠島漁協においては、島内全家庭に設置されている有線放送(オフトーク)を

活用し、お昼の12時に放送したことから32通(島内小学生の約30%)のメッセージの応募があり、小学生を含めた家族への海の安全に対する意識の向上が図られました。

参加漁協無線局：愛知県5局、三重県2局

